

目次

はじめに……………	i	法令略語表……………	ii
-----------	---	------------	----

第1章 通関士試験の手引

[1]通関士試験……………	1	[4]通関士試験要領……………	13
[2]通関士資格の得喪……………	4	[5]通関士の現状と将来……………	23
[3]受験参考書……………	12		

第2章 関税法

関税法の目的及び内容……………	25	義務……………	117
第1節 用語の定義等……………	25	Ⅲ. 輸出申告の特例……………	119
第2節 期間及び期限……………	34	[1]輸出申告の特例により輸出申告が できる者……………	121
第3節 通関前の税関手続……………	36	[2]特定輸出者……………	122
[1]船舶の入出港、貨物の積卸し等……………	36	[3]特定委託輸出者……………	128
[2]通関前の保税手続……………	41	[4]特定製造貨物輸出者……………	130
[3]保税地域の設置……………	49	[5]認定製造者……………	131
[4]各保税地域に特有な事項……………	58	[6]特定輸出申告等を行うことができ る貨物……………	135
[5]保税運送……………	67	[7]特定輸出申告等の申告先税関官署 ……………	136
[6]収容及び留置……………	78	[8]特定輸出申告等の手続……………	136
第4節 通関手続……………	83	[9]特定輸出申告等に際しての提出書 類(仕入書等)……………	137
Ⅰ. 輸出通関手続の概要……………	83	[10]特定輸出申告等をした貨物の検査 ……………	138
Ⅱ. 輸出通関手続……………	84	[11]特定輸出貨物に係る他の法令の輸 出規制解除の証明……………	139
[1]輸出申告の手続の開始……………	84	[12]特定輸出申告等をした貨物の輸出 の許可……………	139
[2]輸出申告……………	88	[13]特例輸出貨物の蔵置場所及び運送 ……………	139
[3]輸出申告に際しての提出書類(仕入 書等)……………	91	[14]特定輸出申告等をした貨物の輸出 の取止め……………	141
[4]輸出申告内容の審査……………	97	[15]輸出の許可後における許可内容の	
[5]輸出貨物の検査及び検査場所……………	97		
[6]輸出してはならない貨物……………	99		
[7]輸出が許可されない貨物……………	111		
[8]輸出の許可……………	112		
[9]輸出の取止め……………	112		
[10]輸出許可内容の変更……………	114		
[11]外国貨物の積戻し……………	116		
[12]輸出者の記帳及び帳簿書類の保存			

目次

変更等	143	納期限	226
[16] 保税地域外にある特例輸出貨物の廃棄、亡失の届出	144	VII. 認定通関業者	226
[17] 輸出通関手続の規定の適用	144	VIII. 郵便物の通関手続	231
IV. 輸入通関手続の概要	145	[1] 輸出入申告を要する郵便物の通関手続	232
V. 輸入(納税)申告方式の通関手続	147	[2] 輸出入申告を要しない郵便物の通関手続	235
[1] 輸入申告の手続の開始	148	IX. 開庁時間外事務執行の求め	244
[2] 輸入(納税)申告	151	X. 税関職員の権限	245
[3] 輸入(納税)申告に際しての提出書類(仕入書等)	159	[1] 輸出された貨物に係る調査	245
[4] 輸入貨物の検査及び検査場所	176	[2] 輸入された貨物に係る調査	245
[5] 輸入してはならない貨物	178	第5節 関税の確定、納付、徴収及び還付	247
[6] 輸入が許可されない貨物	193	I. 通則	247
[7] 関税の納付及び納期限	197	[1] 関税の課税要件	247
[8] 輸入の許可	197	[2] 関税の課税物件	247
[9] 輸入の許可前貨物引取り	197	[3] 課税物件の確定の時期及び適用法令	247
[10] 輸入者の記帳及び帳簿書類の保存義務	200	[4] 関税の納税義務者	256
[11] 税関事務管理人の選任(非居住者による貨物の輸入又は輸出)	200	[5] 関税額	263
VI. 納税申告の特例	205	[6] 関税額の確定方式	267
[1] 特例申告制度	205	II. 申告納税方式の関税の確定	271
[2] 特例輸入者	209	[1] 納税申告	271
[3] 特例委託輸入者	213	[2] 関税額の訂正等	279
[4] 特例申告をすることができる貨物	214	[3] 修正申告	282
[5] 輸入担保(保全担保)の提供	214	[4] 更正の請求	284
[6] 特例申告貨物の輸入申告の手続の開始	216	[5] 更正及び決定	287
[7] 特例申告貨物の輸入申告	217	[6] 輸入の許可前に引き取られた貨物に係る税額等の通知	290
[8] 特例申告貨物の輸入申告に際しての提出書類(仕入書等)	219	III. 賦課課税方式の関税の確定	291
[9] 特例申告貨物の検査	221	[1] 賦課決定及び再賦課決定	291
[10] 輸入が許可されない貨物	221	[2] 賦課課税方式による関税の徴収	293
[11] 輸入の許可	221	IV. 関税の納付及び徴収	294
[12] 特例申告	221	[1] 申告納税方式の関税の納期限	294
[13] 特例申告に際しての提出書類	225	[2] 賦課課税方式による関税の納期限	297
[14] 特例申告に係る関税等の納付及び		[3] 関税の納期限の延長	297

[4]担保	300	[1]関税の賦課権の期間制限	353
[5]関税の納付の手續	307	[2]関税の徴収権の消滅時効	355
[6]関税の徴収の順位(関税の優先徴収)	311	[3]過誤納金の還付及び充当	360
[7]関税の徴収の引継ぎ	312	[4]関税の還付請求権の消滅時効	362
[8]国税徴収の例による関税の徴収	313	第6節 不服申立て	363
V. 附帯税	314	[1]不服申立ての種類	363
[1]延滞税	315	[2]審査請求	364
[2]過少申告加算税	328	[3]再調査の請求	366
[3]無申告加算税	336	[4]審査請求と訴訟との関係	367
[4]重加算税	346	第7節 罰則及び犯則事件の処分	369
VI. 関税の賦課権の期間制限及び徴収権の消滅時効等	352	[1]罰則	369
		[2]犯則事件の処分	377

第3章 関税定率法

関税定率法の目的及び内容	379	[1]関税の軽減、免除又は払戻し等(総論)	459
第1節 関税率	379	[2]変質又は損傷による減税	461
[1]関税率の種類	379	[3]変質、損傷等による戻し税等	465
[2]税率の適用順位	382	[4]加工又は修繕のため輸出された貨物の減税	468
[3]入国者の携帯品等に対する簡易税率	383	[5]生活関連物資の減免税	471
[4]少額輸入貨物に対する簡易税率	384	[6]製造用原料品の減免税	471
[5]特殊な形態の関税	386	[7]無条件免税	474
第2節 特殊関税制度	389	[8]再輸入減税	480
[1]報復関税	389	[9]外国で採捕された水産物等の減免税	482
[2]相殺関税	390	[10]特定用途免税	483
[3]不当廉売関税	392	[11]外交官用貨物等の免税	486
[4]緊急関税	394	[12]再輸出免税	488
[5]対抗関税	396	[13]再輸出減税	492
第3節 課税価格の決定	398	[14]輸出貨物の製造用原料品の減免税	492
[1]前書き	398	[15]輸出貨物の製造用原料品の戻し税等	495
[2]課税価格の決定の原則	401	[16]内貨原料品による製品の輸出免税	498
[3]課税価格の決定の原則の例外	437		
[4]課税価格を計算する場合のその他の関連事項	454		
第4節 各種減免戻し税制度	459		

[17]課税原料品による製品の輸出戻し税等……………	499	[21]関税の軽減、免税等を受けた物品の転用……………	510
[18]輸入時と同一状態で再輸出される場合の戻し税等……………	502	第5節 関税定率法別表(関税率表)…	513
[19]違約品等の再輸出又は廃棄の場合の戻し税等……………	504	[1]関税率表……………	513
[20]軽減税率適用貨物に係る規制……………	508	[2]関税率表の解釈に関する通則…	513
		[3]輸入貨物の品目分類……………	524

第4章 関税暫定措置法

関税暫定措置法の目的及び内容……………	553	……………	560
[1]航空機部分品等の免税……………	554	[9]加工又は組立てのため輸出された貨物を原材料とした製品の減税……………	561
[2]輸入数量を基準とする特別緊急関税……………	555	[10]経済連携協定に基づく加工又は修繕のため輸出された貨物の免税……………	565
[3]課税価格を基準とする特別緊急関税……………	556	[11]経済連携協定に基づく関税割当制度……………	566
[4]豚肉等に係る特別緊急関税……………	557	[12]経済連携協定に基づく製造用原材料品に係る譲許の便益の適用……………	566
[5]経済連携協定に基づく関税の緊急措置……………	557	[13]軽減税率の適用手続……………	567
[6]経済連携協定に基づく特定の貨物に係る関税の譲許の修正……………	558	[14]免税適用物品等の用途外使用等の制限等……………	570
[7]経済連携協定に基づく特定の貨物に係る課税価格が発動基準価格を下回った場合の関税の譲許の修正……………	560	[15]特惠関税制度……………	571
[8]経済連携協定に基づく報復関税……………			

第5章 関税関係特例法

第1節 NACCS法……………	585	[6]預金口座からの関税等の振替納付……………	598
[1]電子情報処理組織……………	587	第2節 コンテナ特例法……………	599
[2]電子情報処理組織を使用して行える輸出入等関連業務……………	587	[1]コンテナ通関条約及びTIR条約……………	599
[3]NACCS法において適用する情報通信技術活用法の概要……………	590	[2]コンテナ特例法……………	600
[4]電子情報処理組織を使用して行う輸出入申告等又は処分通知等……………	591	[3]コンテナの通関……………	601
[5]通関業者の義務……………	597	[4]TIR運送……………	605
		[5]コンテナの承認……………	609

第3節 ATA特例法……………611	の輸出通関……………616
[1]ATA条約……………611	[5]保証団体の責任……………618
[2]ATA特例法……………611	第4節 駐留米軍関係臨時特例法……………620
[3]通関手帳(ATAカルネ)による物品 の輸入通関……………613	[1]地位協定……………620
[4]通関手帳(ATAカルネ)による物品	[2]駐留米軍関係臨時特例法……………620

第6章 外国為替及び外国貿易法

第1節 輸出貿易管理令……………626	[2]輸入割当制度……………645
[1]輸出の許可……………626	[3]2号承認品目及び2の2号承認品目 ……………646
[2]輸出の承認……………632	[4]その他公表品目……………648
[3]輸出許可の特例……………636	[5]輸入の承認の有効期間……………650
[4]輸出承認の特例……………639	[6]輸入承認の特例……………651
[5]輸出の許可又は承認の有効期間……………642	[7]逆委託加工貿易契約による輸入……………653
[6]税関長に委任されている権限……………642	[8]税関長に委任されている権限……………654
[7]電子情報処理組織による手続……………643	[9]電子情報処理組織による手続……………654
[8]政府機関の行為……………643	[10]政府機関の行為……………654
第2節 輸入貿易管理令……………644	
[1]輸入の承認……………644	

第7章 通関業法

[1]通関業法の目的……………661	[16]通関書類の審査……………689
[2]通関業務の範囲……………661	[17]通関業者の権利……………690
[3]関連業務の範囲……………665	[18]通関士となる資格……………692
[4]通関業務と委任関係……………667	[19]通関士の確認……………692
[5]通関業の許可……………668	[20]通関士の審査等……………694
[6]通関業の許可の条件……………669	[21]通関士の義務……………694
[7]通関業の許可の申請……………671	[22]通関士の資格の喪失……………695
[8]通関業者の欠格事由……………672	[23]業務改善命令……………697
[9]通関業の許可の基準……………675	[24]通関業者に対する監督処分……………698
[10]通関業の許可の消滅……………677	[25]通関士に対する懲戒処分……………700
[11]通関業の許可の取消し……………678	[26]通関業者又は通関士に対する行政 処分の手続……………701
[12]通関業の許可の承継……………680	[27]報告の徴取等……………703
[13]許可申請事項の変更等の届出……………682	[28]名称の使用制限……………704
[14]営業所の新設……………683	[29]不服申立て……………704
[15]通関業者の義務……………685	

[30]権限の委任……………706[31]罰 則……………707

第8章 通 関 実 務

通関実務の目的及び内容……………713

第1節 輸出入申告事項登録画面の

作成要領……………715[1]輸出申告事項登録画面(輸出申告書)
の見方……………715[2]輸出申告事項登録画面の作成要領
……………717[3]輸入申告事項登録画面(輸入(納税)
申告書)の見方……………744[4]輸入申告事項登録画面の作成要領
……………747

第2節 計算問題の解答の要領……………785

[1]納付する関税額等の計算……………785[2]修正申告により納付すべき関税額
の計算……………794[3]更正の請求により減額する関税額
(更正により過納金となる関税額)の計算……………797[4]延滞税額の計算……………799[5]過少申告加算税額の計算……………803[6]無申告加算税額の計算……………810[7]重加算税額の計算……………818[8]課税価格の決定の原則による課税
価格の計算……………827[9]課税価格の決定の原則によらない
課税価格の計算……………846

第3節 経済連携協定(EPA)……………853

[1]経済連携協定による物品貿易の自
由化……………853[2]経済連携協定(EPA)の原産地基準
……………858[3]経済連携協定(EPA)の原産地基準に
係る問題(通関士試験)……………860

附 録

索引……………867『通関士試験問題・解説集』(2026年度版)
との相互参照表……………876

通関士試験の指針に関するお知らせ

通関士試験の指針(2026年度版)につきましては、2026年2月20日付で国会に提出された「関税定率法等の一部を改正する法律案」をもとに作成しております。その後の変更等や正誤につきましては、当協会のホームページに掲載いたしますのでご覧下さい。

URL <https://www.kanzei.or.jp/>